

# くらし守れ、雇用まもれ

二〇一〇年の幕あけです。

くらし守れ、雇用まもれの声があがっています。日本共産党は、景気悪化から国民生活を守る論戦と運動をすすめて、変わり始めた政治をいっそう前にすすめるために全力をあげます。

区内生活は収入が落ち込み、失業者は増え続け、子育てや医療、介護などの負担にあえいでいます。日本共産党はくらしの相談活動を行うとともに、高すぎる国民健康保険料は二三区統一保険料でも値下げは可能であり、足立区から声を上げよと提案するなど区政を動かしました。二〇一〇年を、希望がもてる政治になるよう、がんばります。

# 力をあわせて新しい政治の前進を



街頭相談会と「後期高齢者医療制度はただちに廃止を」の署名を行なう日本共産党足立区議団

## 日本共産党

### 中小業者も

区内経済は製造業、小売業などすべての分野で最悪の状況が続いています。日本共産党は緊急融資の延長や緊急経済対策の実施に続いて、商店街支援や中小業者の仕事確保策について提案。区内に開学する五つの大学に関しては、雇用の場として、また事務用品や図書購入などで区内業者支援の機会になるよう求めました。区は「各大学と連携を深める中で、足立区の活性化につながる方策を検討していく」と答えました。

### 高齢者も

後期高齢者医療制度の廃止を新政権が先送りしようとする中、日本共産党は一刻も早く廃止し、老人保健制度に戻すべきと強調。このままでは4月からは平均で年1万円以上の保険料値上げになると質問。区は「財政安定化基金および剰余金を活用して、その上昇を抑えるため協議をすすめる」と答弁。高齢者がインフルエンザで起こしやすい肺炎の予防となる肺炎球菌予防接種への補助、介護従事者の待遇改善も求めました。

### 障がい者も

新政権は「障害者自立支援法の廃止」を明言したものの廃止への道筋は示されていません。新政权が「応能負担」にするというならば、法律の一部を削除し、来年度予算で必要な財源措置を講じればできると日本共産党は指摘しました。障がい者の就労支援では、インターシップ（職場実習）の拡大や、障がい者施設での作業のための発注を増やすことなどを求め、前進しました。

## 今年もみなさんと力あわせがんばります!

都議会議員・都市整備委員  
**大島 よしえ**  
 《事務所》足立区千住龍田町八一  
 ☎(三三七八)九三六二九

氏名・団役職	住所
区議団長 <b>鈴木けんいち</b>	《自宅》 足立区青井 一四一〇 ☎(五八八八)三五三
幹事長 <b>ぬかが和子</b>	《自宅》 足立区伊興 一五一三 ☎(三八五五)四七五九
政調委員長 <b>針谷みきお</b>	《事務所》 足立区西伊興 四一七八 ☎(三八五五)二五八七
副幹事長 団ニュース編集長 <b>伊藤 和彦</b>	《自宅》 足立区花畑 六一〇一 ☎(三八五九)六九五二
政調委員 団ニュース編集委員 <b>橋本ミチ子</b>	《自宅》 足立区梅田 六一四二 ☎(三八八六)七三三二
政調委員 団ニュース編集委員 <b>さとう純子</b>	《自宅》 足立区江北 七一三二 ☎(五六九二)五九五五
政調委員 団ニュース編集委員 <b>浅子けい子</b>	《事務所》 足立区千住旭町 二〇一三 ☎(三八七〇)四五七七

くらしの相談は日本共産党足立区議団へ  
03(3880)5770

発行会派  
日本共産党足立区議団  
足立区中央本町1-17-1  
足立区役所内  
発行責任者 鈴木けんいち  
編集責任者 伊藤和彦

## みなさんのご意見をおよせ下さい

区議団 Tel.03-3880-5770 Fax.03-3880-5682  
 足立区議団メールアドレス acmp@blue.ocn.ne.jp  
 足立区議団のホームページ http://www.adachi-jcp.jp/

## 2009年第4回定例区議会報告





足立区役所

# 区の収入(財政調整交付金) 「100億円減る」の大合唱で 区民サービスを 切りすてようとするけれど…

**基金は1000億円**  
こういう時にこそ  
区民のために使うべき

12月議会で近藤区長は「都の税収が約1兆円減り、足立区に入るお金(財政調整交付金)も100億円以上減るから大変」と区民のための施策を削減・廃止する理由にしようとしています。

## 「事業の廃止・縮小も含め検証」

区は「きびしい」「きびしい」を連発し、「事業の廃止・縮小も含め検証」「補助金の見直し」「行政評価や公共サービス改革なども統合した新たなしくみづくり」と矢継ぎ早に述べ、補助金は「一括見直し」を打ち出しました。

## 財政がきびしいと言いが

## 基金(積立金)は1000億円を上回る

しかし財政がきびしいと言いながら区は新たに55億円の基金積み立て(貯金)を行い、1000億円をこえました。急激な景気後退ときびしい経済状況の中で、税

収が落ち込むことは予想されることですが、こういう時こそ苦しんでいる区民の生活を応援するために支援策を立てる必要があります。また、基金はそういう時のためにあることは区も議会答弁で認めています。

## 区民生活支援こそ必要

経済危機の大きさは家計所得が減って庶民の生活が苦しいことです。区民生活を直接支援することや雇用を正規化することが最大の対策で、そうしてこそ景気回復の道が開かれ税収増にもつながります。

日本共産党はいまこそ基金を活用して区民生活を支援に取り組みべきと追及しました。

大切だから補助してきたのだ

## 234項目 「補助金の一括見直し」削減・廃止がねらい?

足立区は234ある補助金すべてを一括見直しすることを明らかにしました。

そのなかには、学校や幼稚園、町会・自治会、老人クラブ、消防団、商店街イベント、原爆被爆者の会などが入っています。

**えっ!** 20年以上経過した団体への補助金はすべてゼロベースで見直す

区は「財政的支援の理由が希薄になってきている」と言いますが、必要性が高いからこそ継続してきたものです。見直すと言うのであれば充実も含めて検討すべきです。

**えっ!** 「補助額は原則として対象経費の2分の1以内」に見直す

例えば、私道整備工事助成は、私道に下水道を通した排水管の取替えなどの補助金です。現在90~95%の補助率ですが、これが50%以下になったら大変です。

**えっ!** 一番影響を受ける当事者の意見を聞く考えはない

日本共産党の質問に対し、区は「利害関係が生じる当事者からの意見を聞く考えはない」旨の冷たい答弁をしました。

このようなやり方で補助金の削減、廃止を進めることは正しい解決にはならず、そのために設置される「評価委員会」には反対しました。

ムダをチェックし、税金の使い方を見直すことは必要です。

しかし、不要不急の土地の購入や特定の事業者にはいたれりつくせりなど、見直ししなければならない大きな無駄づかいがたくさんあるのではないのでしょうか。

## 核兵器のない世界を足立から発信

### 区議会で決議

今議会では「平和と安全の都市宣言を行って足立区においても、国際社会の平和と安全につながる核兵器の廃絶は、区民共通の願いである」として「世界から核兵器を廃絶するための決議」を全会派が一致して決議しました。

子どもを大切にのびのび育つ環境をと  
区民が開いた足立教育大集会



さらに区教委は十一月に、千寿第五小学校の統廃合説明会を実施しました。千五小は一学年2クラスあり、区が言う「過小規模」でもありません。しかし古くなったからと統廃合する姿勢です。おかしいのではないのでしょうか。

## 古くなったら統廃合?

区教委は、言うに事欠いて「この学校に入っても卒業できません」「他へ移るなら待つてあげますよ」と誘導して、入学児童を減らしておきながら、「さらに児童数が少なくなったから統廃合は急務」と述べました。常軌を逸する態度です。

## 学校統廃合 どこから見ても道理がない

区立本木東小学校の統廃合の案が示されて九ヶ月たちました。どこからみても道理のない統廃合計画に、反対の声がますます広がっています。

日本共産党は十二月の議会でも、このような学校統廃合を進めるべきではないと追及しました。

第一に住民が反対しています。文部科学省(旧文部省)も「無理な学校統廃合を行い地域住民等との間に紛争を生じたりすることは避けなければならない」と通達を出しています。

反対しているのは一部の人ではなく町中に本木東小の存続を願うポスターが貼られ、署名は地域から三〇〇〇名近く届けられています。

## 子どもたちは生き生きと育っている

第二に、規模が小さくなったから統

## まちが壊れる

第三に、この統廃合計画は町を壊します。本木東小はまちが望んで作られた学校で、お祭りもこの学校を中心に行なわれ、子どもたちの大好きな金管バンドは「まちの宝」なっています。「学校はつぶしたら同じものは出来ない」「学校は地域の財産だ」「学校がなくなつては困る。地域が死んでしまう」と町会役員から声が上がるのは当然です。